

むつ市林道施設長寿命化計画 (個別施設計画)

計画期間

自 令和 3年4月 1日

至 令和12年3月31日

むつ市役所

令和3年2月

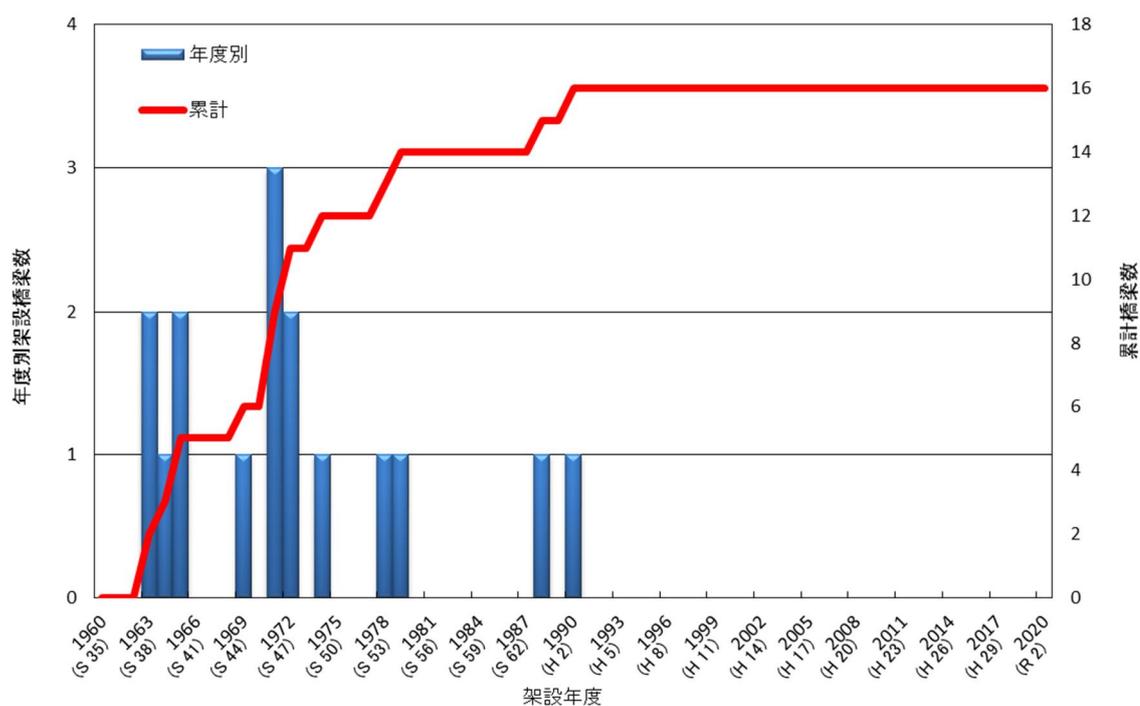
むつ市林道施設長寿命化計画（個別施設計画）

1. 基本的事項

むつ市における林道施設の現状は、林道橋 16 施設である。1963 年～1990 年（昭和 38 年～平成 2 年）までに供用されており、架設年度の分布状況は下図の通りである。

建設年度が最も古い「館山下 1 号」と「愛宕山 1 号橋」においては、施工年度から 57 年経過しており、財務省令「減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 43 年 3 月 31 日大蔵省令第 15 号）」によると橋梁の耐用年数は 60 年であることから、2023 年度から耐用年数に達する林道施設が現れる事となる。

これらを踏まえ、維持管理に当たっては「予防保全型維持管理」の考え方を導入し、維持管理コストの縮減と橋梁の長寿命化を図るために必要な対策を適切に実施する。



2. 対象施設

本計画の対象とする施設は別紙のとおりである。

3. 計画期間

本計画における施設毎の計画期間は別紙のとおりである。

4. 施設の優先度

本計画における施設毎の優先度は別紙のとおりである。

5. 施設の状態等

本計画の策定に当たって実施した点検・診断により把握された（または本計画の策定時点で把握されている）施設毎の状態については別紙のとおりである。

6. 対策内容と実施時期

上記「施設の優先度」及び「施設の状態等」を踏まえ、施設毎に講じる対策の内容及び実施の時期について別紙のとおり計画する。

7. 対策費用

個別施設ごとの対策費用の概算については別紙のとおりである。なお、この金額は計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や社会情勢の変化等により、金額に変動が生じる場合がある。

個別施設計画一覧表(橋梁)

個別施設 整理番号	路線名	林道種類 及び区分	橋梁名	所在地	起点か の距離	建設 年度	供用 年数	橋種	型式	道路橋 示方書	橋脚 形式	橋長 (m)	幅員 (m)	上部工型式	橋脚工 型式	海岸分 離(m)	橋梁の状況		計画内容		計画内容		優先 度	備考
																	橋梁 区分	所見等	計画期間	内容 要項(要項)	内容 要項(要項)	実施 年月日		
1	むつ6 天狗林線	自動車道 2級	橋梁(天狗林 線)	むつ市大字奥内 字又文山	1330m	1971	49	RC橋	その他	S39	二等橋	今泉川	6m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.7	低		
2	むつ7 辰森線	自動車道 2級	橋梁(辰森線)	むつ市大字奥内 字近川	101m	1983	32	PC橋	その他	S55	二等橋	近川	8m	単軌1桁橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.6	低		
3	川内1	自動車道 2級	館山下下	むつ市川内町館 山下	137m	1963	57	RC橋	その他	-	二等橋	熊野川	4m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.1	低		
4	川内1	自動車道 2級	館山下2号	むつ市川内町館 山下	1630m	1964	56	RC橋	その他	-	二等橋	熊野川	2m	RC床版橋	重力式 橋台	-	III	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.2	高		
5	川内2	自動車道 2級	愛宕山1号橋	むつ市川内町館 山下	67m	1963	57	RC橋	その他	-	二等橋	熊野川	4m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.1	低		
6	川内3	自動車道 2級	ムジケ沢線	むつ市川内町川 代	1180m	1965	55	RC橋	その他	S39	二等橋	戸沢川	5m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.1	低		
7	川内3	自動車道 2級	ムジケ沢線	むつ市川内町川 代	1551m	1965	55	RC橋	その他	S39	二等橋	戸沢川	7m	RC床版橋	重力式 橋台	-	III	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.9	高		
8	川内3	自動車道 2級	ムジケ沢線	むつ市川内町川 代	2042m	1971	49	RC橋	その他	S39	二等橋	戸沢川	5m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.2	中		
9	川内3	自動車道 2級	ムジケ沢線	むつ市川内町川 代	2042m	1971	49	RC橋	その他	S39	二等橋	戸沢川	5m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.2	低		
10	川内4	自動車道 2級	八木沢橋	むつ市川内町八 木沢	1540m	1978	42	PC橋	その他	S48	二等橋	八木沢	10m	単軌1桁橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.2	低		
11	川内5	自動車道 2級	第2柳ノ沢橋	むつ市川内町柳 ノ沢	231m	1969	51	RC橋	その他	S39	二等橋	戸沢川	5m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.5	低		
12	川内6	自動車道 2級	柳ノ沢橋	むつ市川内町柳 ノ沢	88m	1979	41	PC橋	その他	S53	二等橋	小倉平 沢	10m	単軌1桁橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.2	低		
13	川内7	自動車道 2級	サツカイ1号橋	むつ市川内町柳 ノ沢	50m	1972	48	RC橋	その他	S39	二等橋	小倉平 沢	7m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.1	低		
14	川内10	自動車道 2級	第3柳ノ沢橋	むつ市川内町柳 ノ沢	348m	1974	46	RC橋	その他	S48	二等橋	戸沢川	6m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.1	低		
15	川内11	自動車道 2級	第2戸沢橋	むつ市川内町柳 ノ沢	1590m	1972	48	RC橋	その他	S39	二等橋	河川	4m	RC床版橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R5	0.1	低		
16	川内25	自動車道 2級	神戸平橋	むつ市川内町片 貝	792m	1980	30	H形 鋼	その他	S55	二等橋	矢野川	18m	単線合成桁 橋	重力式 橋台	-	II	令和4年度~ 令和3年度	補修	R4	12.0	中		

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	むつ6	施設管理者	むつ市
路線名	天狗林線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	橋梁(天狗林線)
施設の所在地	むつ市大字奥内字二又山	起点からの距離	1330m	建設年度	1971
供用年数	49	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	今泉川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6m		幅員(車道幅員)	3.6m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道天狗林線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。また民間施設が存在することから、その関係者による利用もみられる。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	橋台縦壁にひび割れ、地覆、防護柵の脱落が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	下部工ひび割れ補修、地覆打換え、防護柵取り替え 749千円	

管理方法
下部工のひび割れ補修、脱落した防護柵の取り替え、地覆の打換えを行う。
5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.7		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	むつ17	施設管理者	むつ市
路線名	尽森線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	橋梁(尽森線)
施設の所在地	むつ市大字奥内字近川	起点からの距離	101m	建設年度	1988
供用年数	32	種別	PC橋	型式	その他
道路示方書	S55	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	近川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8m		幅員(車道幅員)	4.0m
	施設の構造等	上部工型式	単純I桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道尽森線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	橋台縦壁にひび割れ、遊離石灰、伸縮装置からの漏水跡、支承、伸縮装置に経年劣化、防護柵に腐食、変形欠損、排水管に変色が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	防護柵取り替え 645千円	

管理方法	下部工のひび割れ補修を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。
------	---

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.6		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号	川内1	施設管理者	むつ市
路線名	館山下線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	館山下1号
施設の所在地	むつ市川内町館山下	起点からの距離	137m	建設年度	1963
供用年数	57	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	—	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	熊野川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4m		幅員(車道幅員)	3.6m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	—		

施設の目的
利用実態等 林道館山下線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	床版にはく離、橋台堅壁にはく離、ひび割れ、遊離石灰、伸縮装置からの漏水跡、地覆に欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、ASRが考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工 124千円	
管理方法	床版および下部工、地覆の断面修復工、下部工のひび割れ補修を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.1		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号	川内1	施設管理者	むつ市
路線名	館山下線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	館山下2号
施設の所在地	むつ市川内町館山下	起点からの距離	1630m	建設年度	1964
供用年数	56	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	—	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	熊野川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	2m		幅員(車道幅員)	3.7m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	—		

施設の目的
利用実態等
林道館山下線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、遊離石灰、うき、橋台堅壁にはく離、ひび割れ、遊離石灰、地覆に欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	劣化原因	凍害、ASRが考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	早期に措置を講ずる必要があるため、令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期に措置を講ずる必要があるため、優先度は「高」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工 245千円	
管理方法	床版および下部工、地覆の断面修復工を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.2		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	5	林道台帳索引番号	川内2	施設管理者	むつ市
路線名	愛宕山線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	愛宕山1号橋
施設の所在地	むつ市川内町館山下	起点からの距離	67m	建設年度	1963
供用年数	57	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	—	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	熊野川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4m		幅員(車道幅員)	3.2m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	—		

施設の目的
利用実態等
林道愛宕山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	床版、橋台堅壁にはく離、ひび割れ、遊離石灰、地覆にうき、欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、ASRが考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工 145千円	
管理方法	床版および下部工の断面修復工、ひび割れ補修を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.1		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	6	林道台帳索引番号	川内3	施設管理者	むつ市
路線名	ムジケ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	ムジケ沢1号
施設の所在地	むつ市川内町川代	起点からの距離	1180m	建設年度	1965
供用年数	55	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5m		幅員(車道幅員)	3.6m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道ムジケ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 26	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、橋台縦壁にはく離、ひび割れ、遊離石灰、侵食、地覆に欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、流水が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版の断面修復工、下部工の断面修復工 121千円	

管理方法
床版および下部工の断面修復工を行う。
5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.1		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	7	林道台帳索引番号	川内3	施設管理者	むつ市
路線名	ムジケ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	ムジケ沢2号
施設の所在地	むつ市川内町川代	起点からの距離	1551m	建設年度	1965
供用年数	55	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7m		幅員(車道幅員)	3.6m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道ムジケ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。

施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2. 8. 26	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、ひび割れ、遊離石灰、錆汁、木片、橋台堅壁にはく離、ひび割れ、遊離石灰、うき、地覆に脱落が見られる。	
	健全性の 診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	橋梁の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
	劣化原因	凍害、ASR(アルカリシリカのゲル)が考えられる。	

長寿 命 化 計 画 の 内 容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	早期に措置を講ずる必要があるため、令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期に措置を講ずる必要があるため、優先度は「高」とした。
	対策費用 (概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工、地覆打換え 899千円	
管理 方法	管理方法	床版および下部工の断面修復工、地覆打換えを行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。	

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.9		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	8	林道台帳索引番号	川内3	施設管理者	むつ市
路線名	ムジケ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	ムジケ沢3号
施設の所在地	むつ市川内町川代	起点からの距離	2042m	建設年度	1971
供用年数	49	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5m		幅員(車道幅員)	3.7m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道ムジケ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 26	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、ひび割れ、遊離石灰、うき、橋台縦壁に遊離石灰、侵食、伸縮装置に経年劣化、地覆に脱落が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、流水、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工、地覆打換え 174千円	
管理方法	床版および下部工の断面修復工、地覆打換えを行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.2		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	9	林道台帳索引番号	川内3	施設管理者	むつ市
路線名	ムジケ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	ムジケ沢4号
施設の所在地	むつ市川内町川代	起点からの距離	2356m	建設年度	1971
供用年数	49	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5m		幅員(車道幅員)	3.6m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的 利用実態等	林道ムジケ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 26				
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、橋台縦壁に侵食、洗堀、支承に経年劣化、地覆にはく離、脱落が見られる。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	凍害、流水、経年劣化が考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。			
対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工、地覆打換え 165千円					
管理方法	床版および下部工の断面修復工、地覆打換えを行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.2		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	10	林道台帳索引番号	川内4	施設管理者	むつ市
路線名	八木沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	八木沢橋
施設の所在地	むつ市川内町八木沢	起点からの距離	1540m	建設年度	1978
供用年数	42	種別	PC橋	型式	その他
道路示方書	S48	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	八木沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10m		幅員(車道幅員)	4.0m
	施設の構造等	上部工型式	単純I桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的 利用実態等	林道八木沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	R2.9.14				
	調査結果	橋台縦壁にひび割れ、伸縮装置からの漏水跡、伸縮装置、排水管に経年劣化、地覆にひび割れ、遊離石灰、うき、防護柵に変形欠損が見られる。				
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。			
対策費用(概算)	下部工断面修復工 161千円					
管理方法	下部工の断面修復工を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.2		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	11	林道台帳索引番号	川内5	施設管理者	むつ市
路線名	第2柳ノ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	第二柳ノ沢1号橋
施設の所在地	むつ市川内町川代	起点からの距離	231m	建設年度	1969
供用年数	51	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5m		幅員(車道幅員)	3.7m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	なし	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道第二柳ノ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 26	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、遊離石灰、うき、橋台堅壁に遊離石灰、侵食、伸縮装置に経年劣化、地覆に欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、流水、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工、防護柵取り替え 476千円	

管理方法
床版および下部工の断面修復工、防護柵の取り替えを行う。
5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.5		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備考

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	12	林道台帳索引番号	川内6	施設管理者	むつ市
路線名	栃ノ木沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	栃ノ木橋
施設の所在地	むつ市川内町釜谷	起点からの距離	88m	建設年度	1979
供用年数	41	種別	PC橋	型式	その他
道路示方書	S53	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	小倉平沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10m		幅員(車道幅員)	4.0m
	施設の構造等	上部工型式	単純I桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道栃ノ木線の利用区域には、早期に整備すべき森林が存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	主桁にひび割れ、間詰めからの遊離石灰、橋台縦壁にはく離、支承に変形欠損、伸縮装置に経年劣化、地覆にひび割れ、防護柵に防食機能の劣化、腐食、変形欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	主桁断面修復工、下部工断面修復工 217千円	
管理方法	主桁および下部工の断面修復工を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.2		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	13	林道台帳索引番号	川内7	施設管理者	むつ市
路線名	サッカイ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	サッカイ1号橋
施設の所在地	むつ市川内町釜谷	起点からの距離	50m	建設年度	1972
供用年数	48	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	小倉平沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7m		幅員(車道幅員)	3.6m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道サッカイ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	床版にはく離、ひび割れ、遊離石灰、うき、橋台堅壁に侵食、支承、排水管に経年劣化、地覆に欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、ASR、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工 136千円	
管理方法	床版および下部工の断面修復工を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.1		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	14	林道台帳索引番号	川内10	施設管理者	むつ市
路線名	第3柳ノ沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	柳ノ沢橋
施設の所在地	むつ市川内町川代	起点からの距離	349m	建設年度	1974
供用年数	46	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S48	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	戸沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6m		幅員(車道幅員)	3.7m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道第三柳ノ沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 27	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、ひび割れ、遊離石灰、うき、橋台縦壁に侵食、支承、排水管に経年劣化、地覆にひび割れ、遊離石灰、欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工 131千円	
管理方法	床版および下部工の断面修復工を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.1		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備 考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	15	林道台帳索引番号	川内11	施設管理者	むつ市
路線名	第2戸沢線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	第二戸沢1号橋
施設の所在地	むつ市川内町袈川	起点からの距離	1590m	建設年度	1972
供用年数	48	種別	RC橋	型式	その他
道路示方書	S39	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4m		幅員(車道幅員)	4.1m
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	なし	塗装使用の有無	なし
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		

施設の目的
利用実態等
林道第二戸沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。

施設の状態等の概要	点検診断日	R2. 8. 26	
	調査結果	床版にはく離、鉄筋露出、ひび割れ、橋台縦壁にはく離、ひび割れ、遊離石灰、支承に経年劣化、地覆に欠損が見られる。	
	健全性の診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。	

長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和13年度	
	内容	補修	
	実施予定時期	予防保全の観点から早期に対策を実施することが望ましく、対策費用が少額であるため令和5年度に実施する。	
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 予防保全段階であり、早期措置段階には達していないため、優先度は「低」とした。
	対策費用(概算)	床版断面修復工、下部工断面修復工 116千円	
管理方法	床版および下部工の断面修復工を行う。 5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。		

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)		0.1		0.2					0.2	
対策の内容・実施時期		補修工		定期点検					定期点検	

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	16	林道台帳索引番号	川内25	施設管理者	むつ市
路線名	神戸平線	林道種類及び区分	自動車道 2級	橋梁名	神戸平橋
施設の所在地	むつ市川内町片貝	起点からの距離	792m	建設年度	1990
供用年数	30	種別	H形鋼	型式	その他
道路示方書	S55	橋格(設計荷重)	二等橋	橋下条件	矢櫃川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18m		幅員(車道幅員)	4.0m
	施設の構造等	上部工型式	単純合成桁			
			鋼製(使用鋼材)	あり	塗装使用の有無	なし
		支承形式	線支承	落橋防止の有無	なし	
	橋台工型式	RC造逆T式橋台1基、重力式橋台1基		基礎形式	不明	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	-		
施設の目的 利用実態等	林道神戸平線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから当該施設は森林組合等により利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	R2.9.14				
	調査結果	主桁、横桁に腐食(耐候性鋼材)、橋台胸壁にはく離、鉄筋露出、支承、伸縮装置に経年劣化、防護柵に腐食、変形欠損、排水管に経年劣化、土砂詰まりが見られる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	橋梁の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	凍害、経年劣化が考えられる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和4年度～令和13年度				
	内容	補修				
	実施予定時期	劣化現象が加速度的に進行する段階であるり、予防保全の観点から早期に措置を講ずることが望ましいため令和4年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 早期措置段階に置かれている橋梁を「高」としたため、本橋梁の優先度は「中」とした。			
対策費用 (概算)	上部工・防護柵塗替、下部工断面修復工、伸縮装置交換 11,531千円					
管理 方法	管理方法	5年に1回の定期点検を行い、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年
対策費用(百万円)	12.0			1.3					1.5	
対策の内容・実施時期	補修			定期点検					定期点検	

備 考										